

第54回 埼玉県臨床細胞検査士会鏡検セミナー

症例③：唾液腺

患者情報：50代 女性

材料：右顎下腺

採取方法：顎下腺穿刺吸引

臨床所見：1ヶ月前からみぎ顎下部腫瘍を自覚

MRIにて顎下腺優位に腫脹

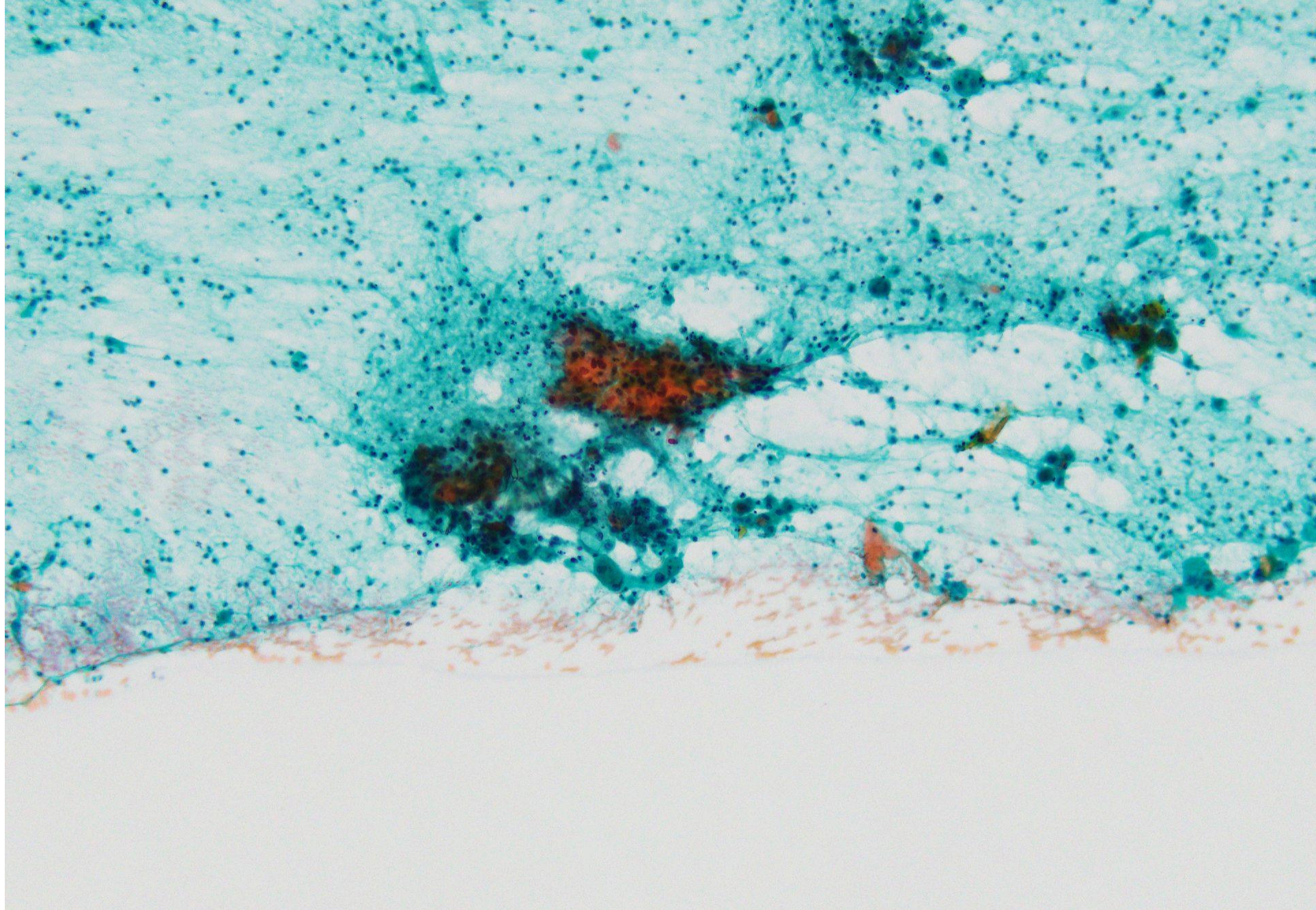
一部隆起性に外側へ肥厚あり

**(5年前から歯科で唾石は指摘されていた)**

# 症例③ 唾液腺 事前解答

- 良性 唾石による炎症変化 4名
- 粘表皮癌 7名
- 導管癌 1名
- 扁平上皮癌 5名
- 多形腺腫由来癌 0名

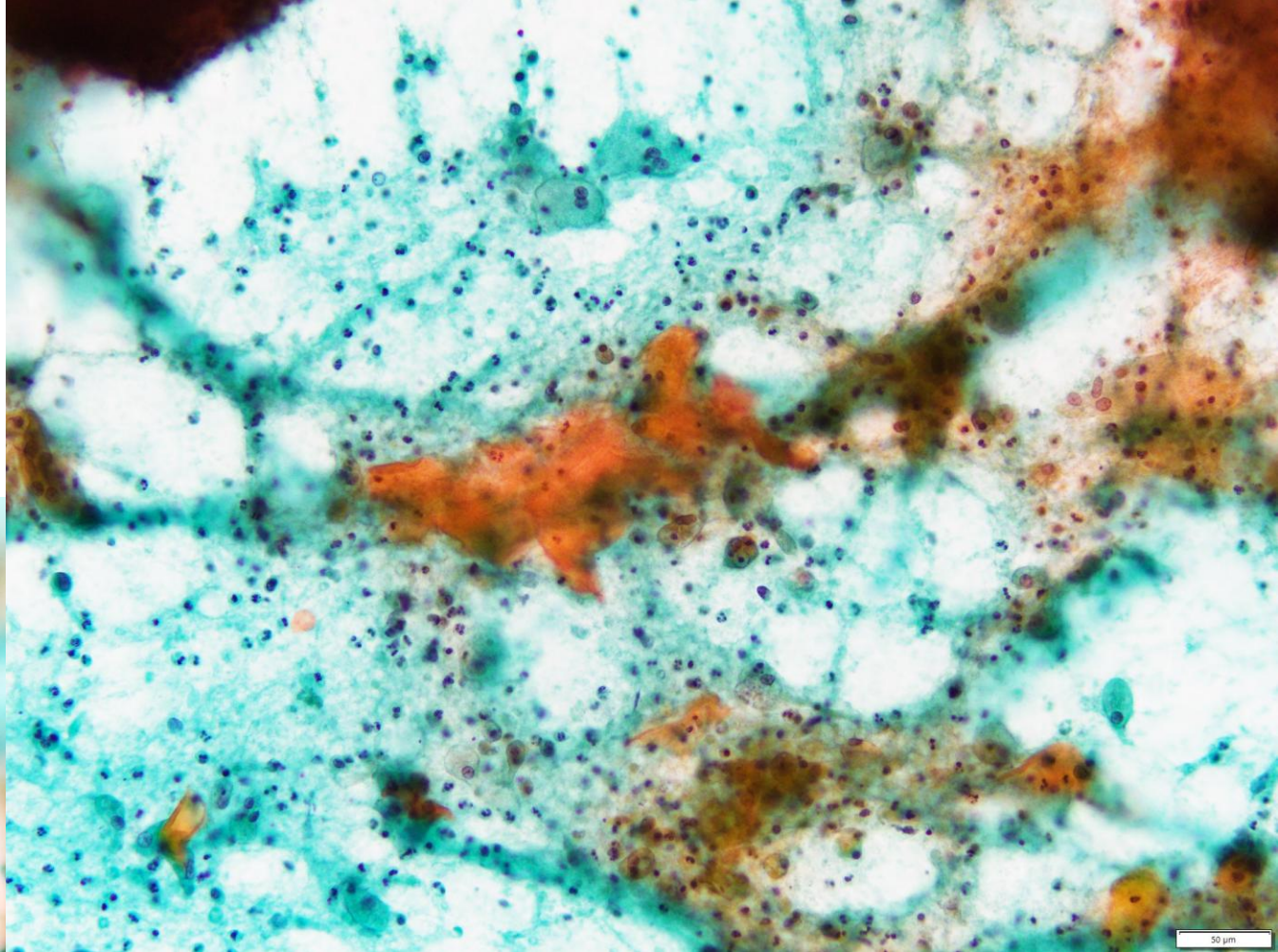
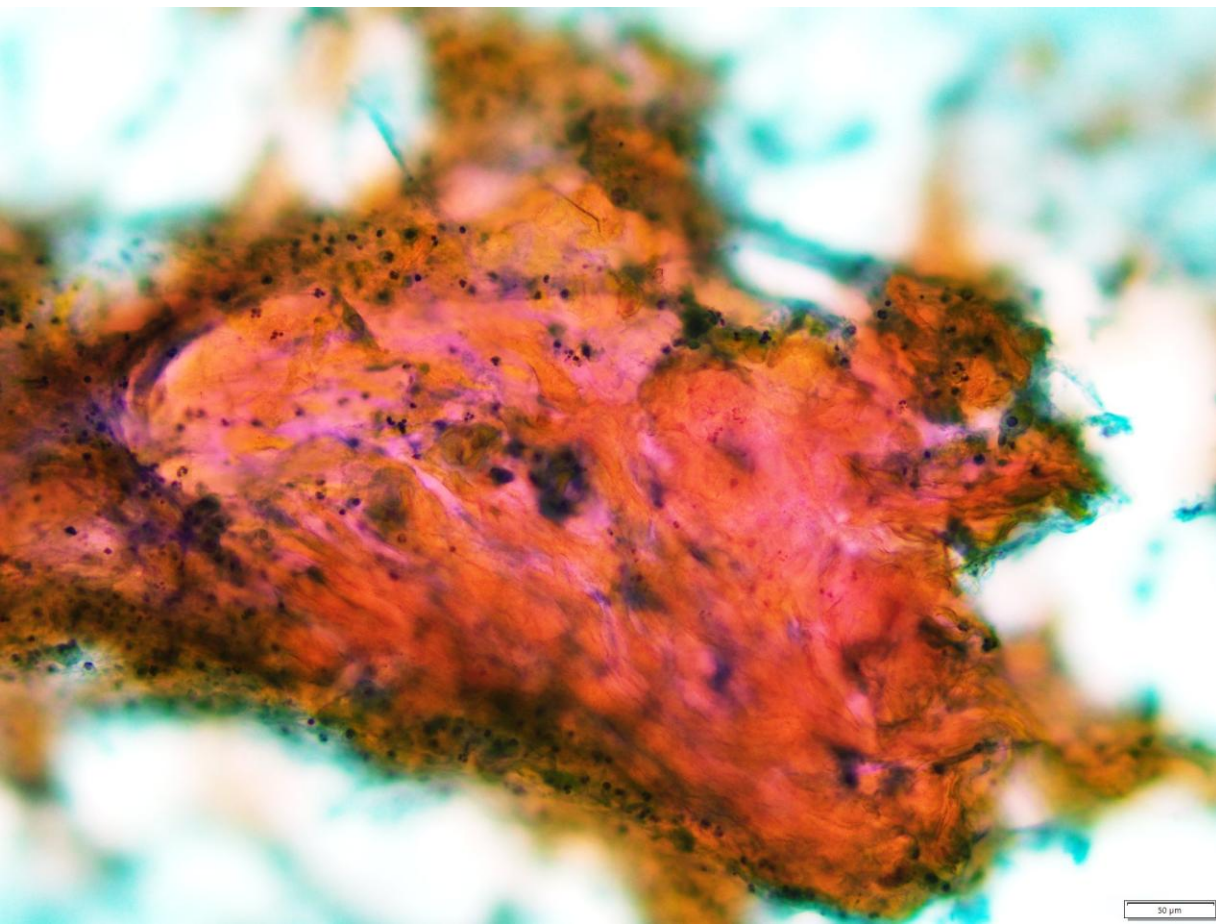
Papanicolaou染色  
対物 x 10



好中球主体の炎症細胞、粘液様物質、組織球や多核組織球

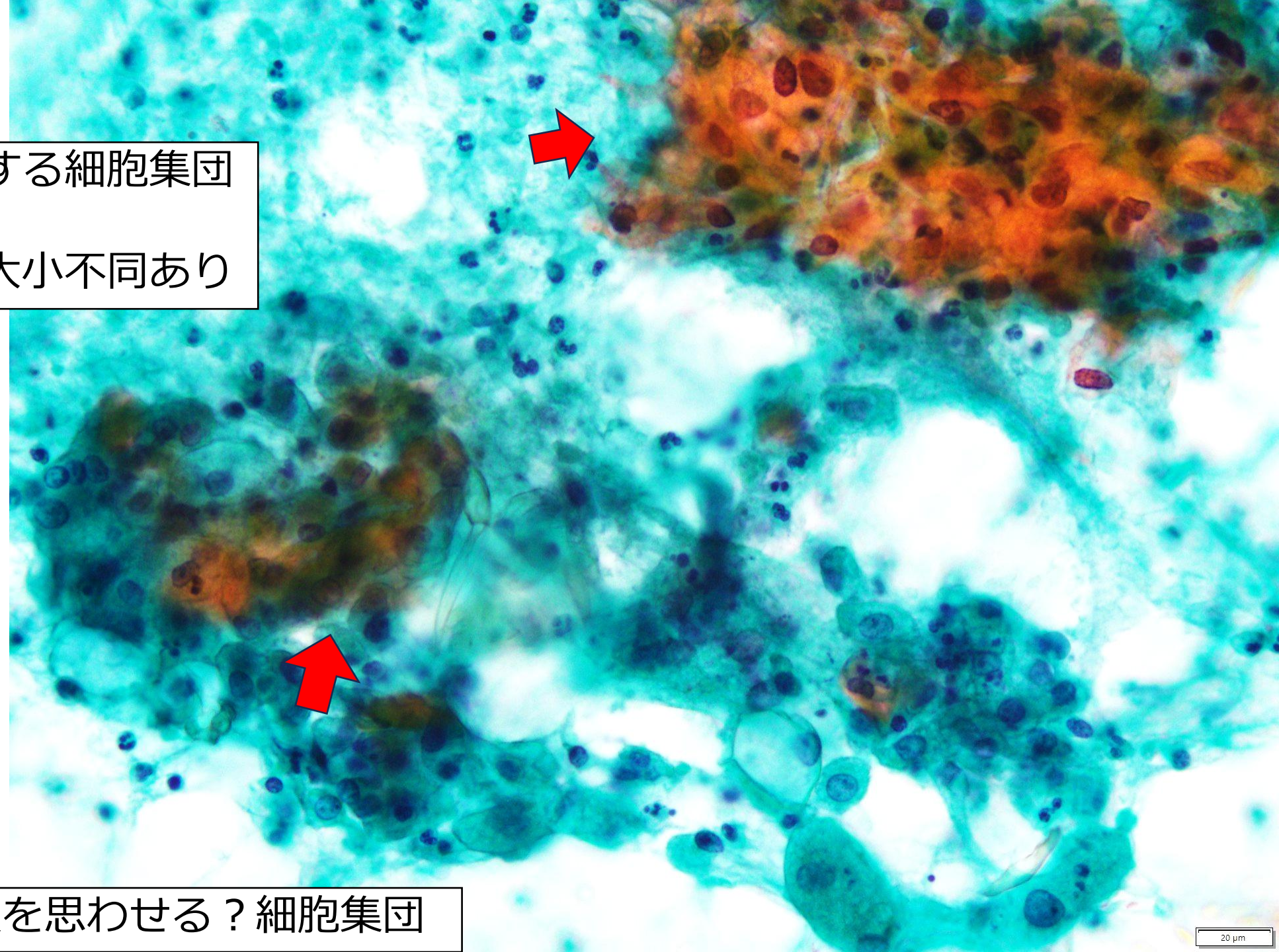
Papanicolaou染色  
対物 x 40

豊富な角化物、組織球や多核組織球



Papanicolaou染色  
対物 x 40

多稜形の細胞質を有する細胞集団  
核腫大や核形不整、大小不同あり



粘液を思わせる？細胞集団

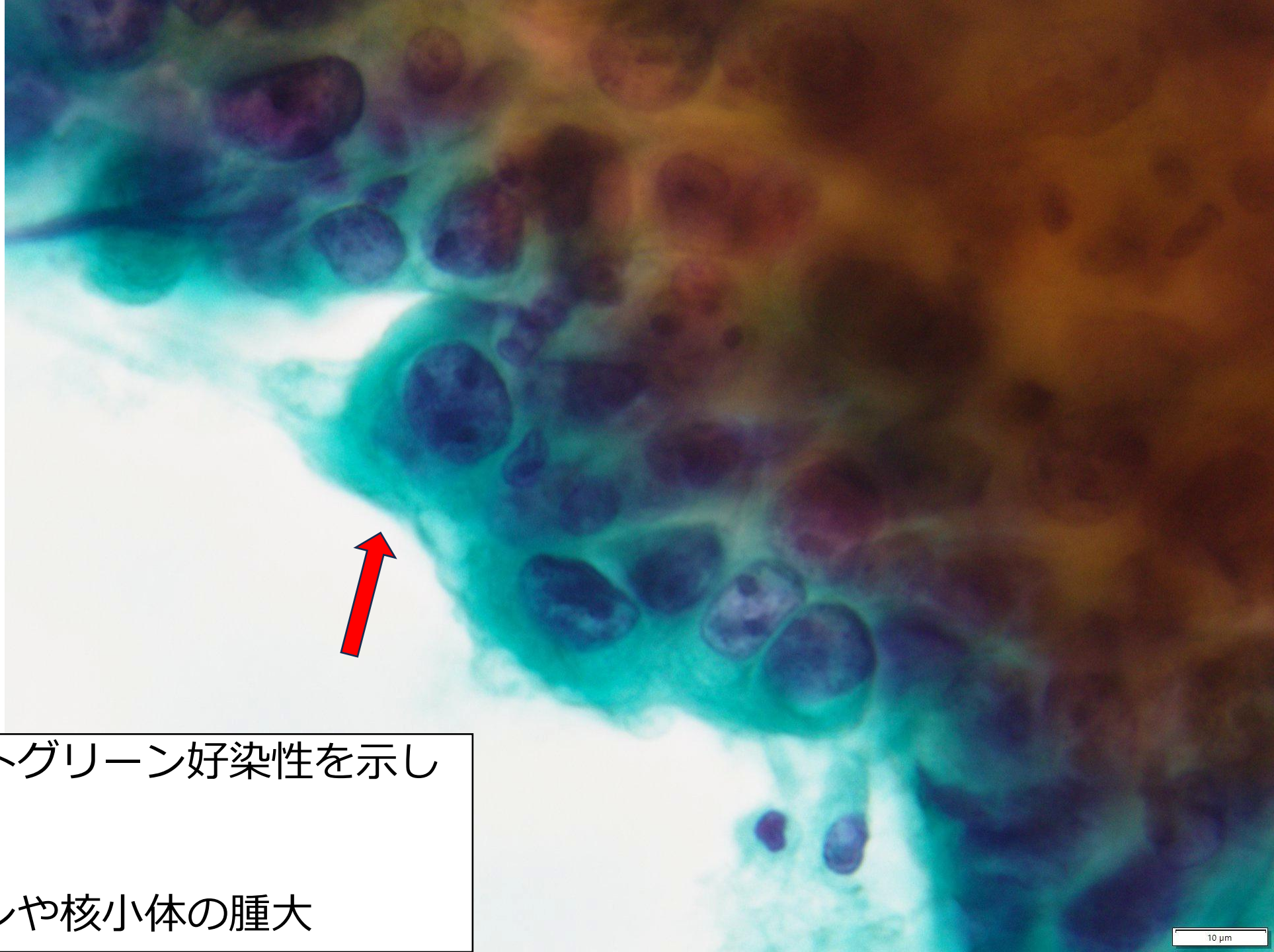
Papanicolaou染色  
対物 x 10

石灰化物あり



結合性が保たれた大型の上皮集塊  
核密度が高く、個々の細胞異型は弱い

Papanicolaou染色  
対物 x 100

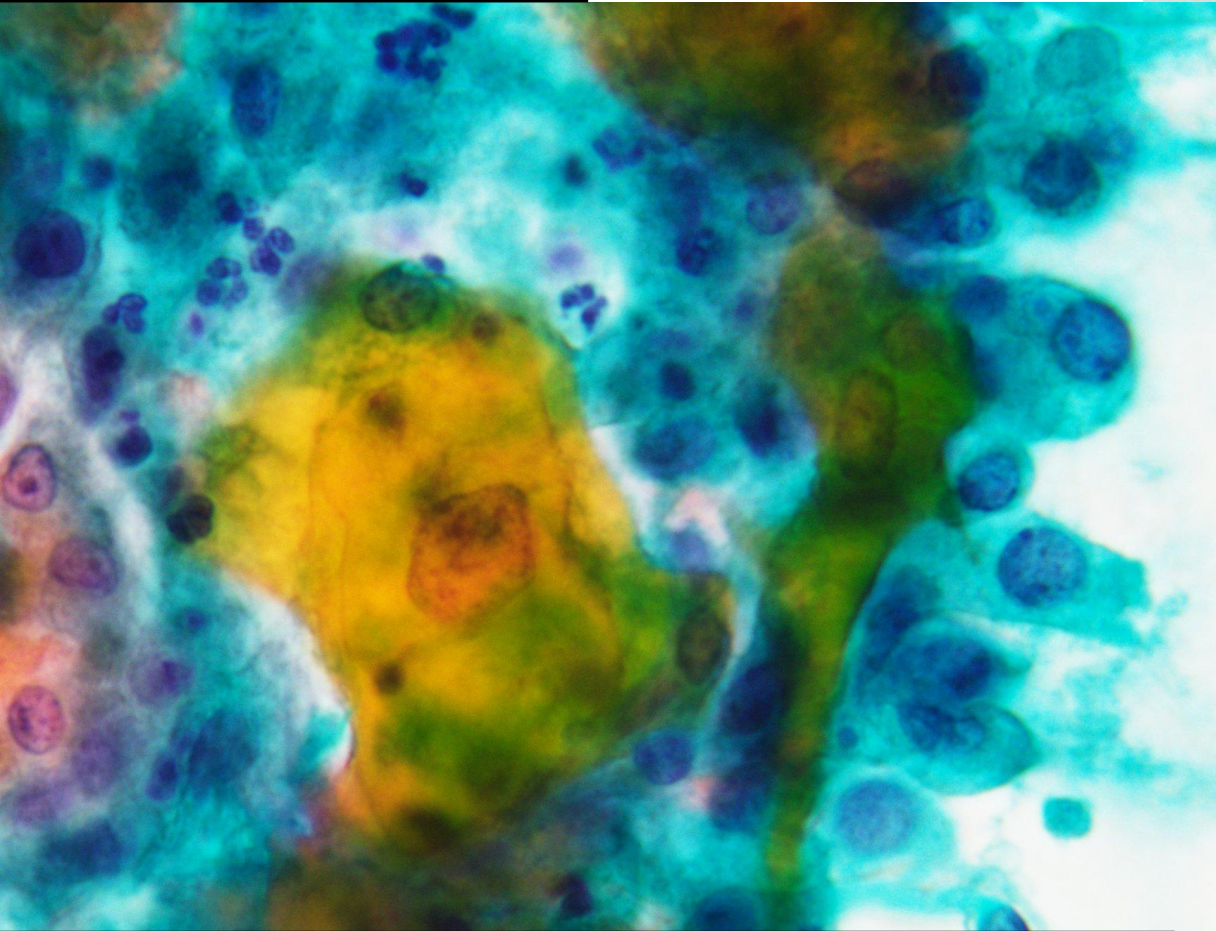


細胞質が厚く、ライトグリーン好染性を示し  
核は比較的中心性

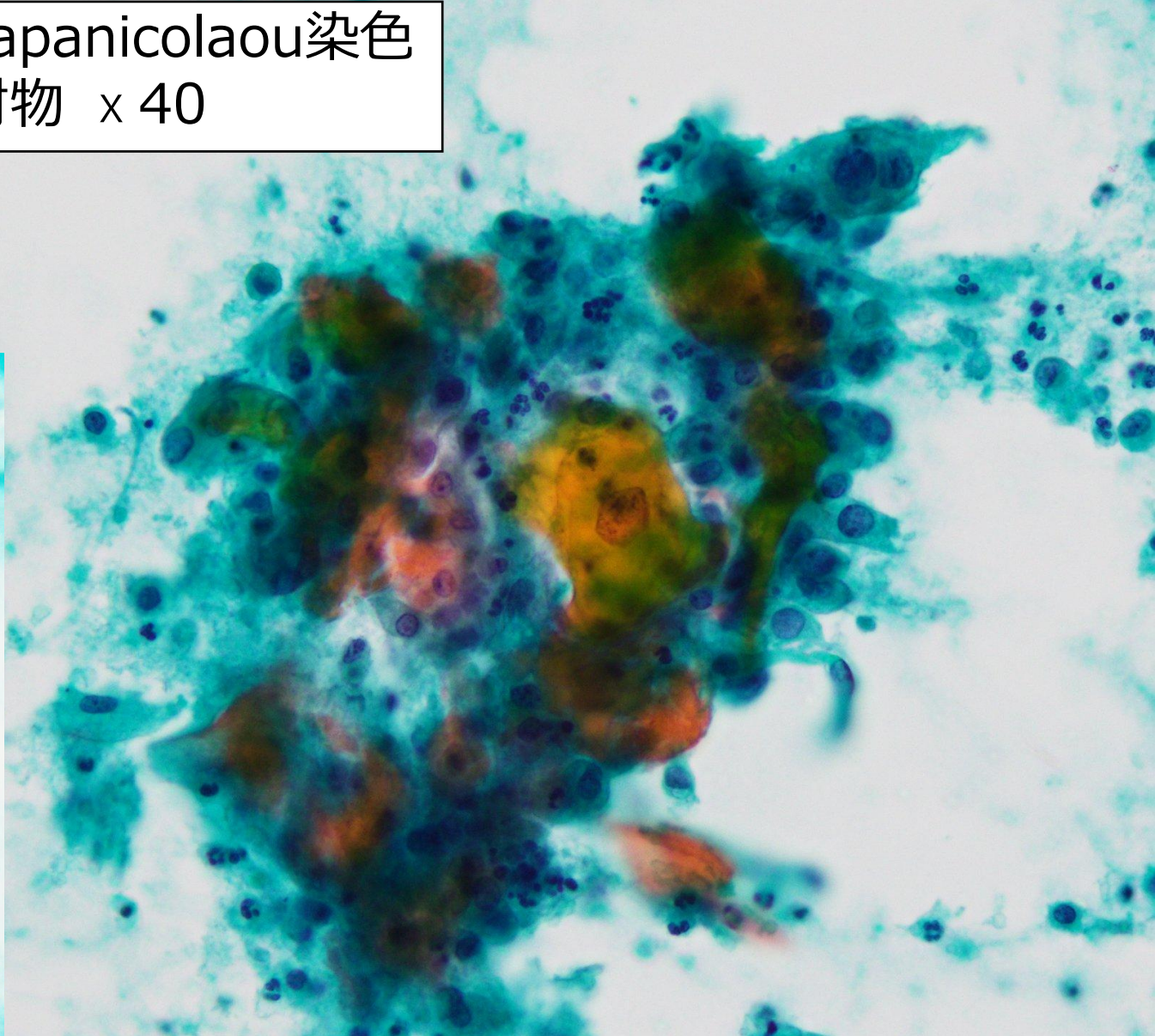
顆粒状の核クロマチンや核小体の腫大

Papanicolaou染色  
対物 x 40

Papanicolaou染色  
対物 x 100



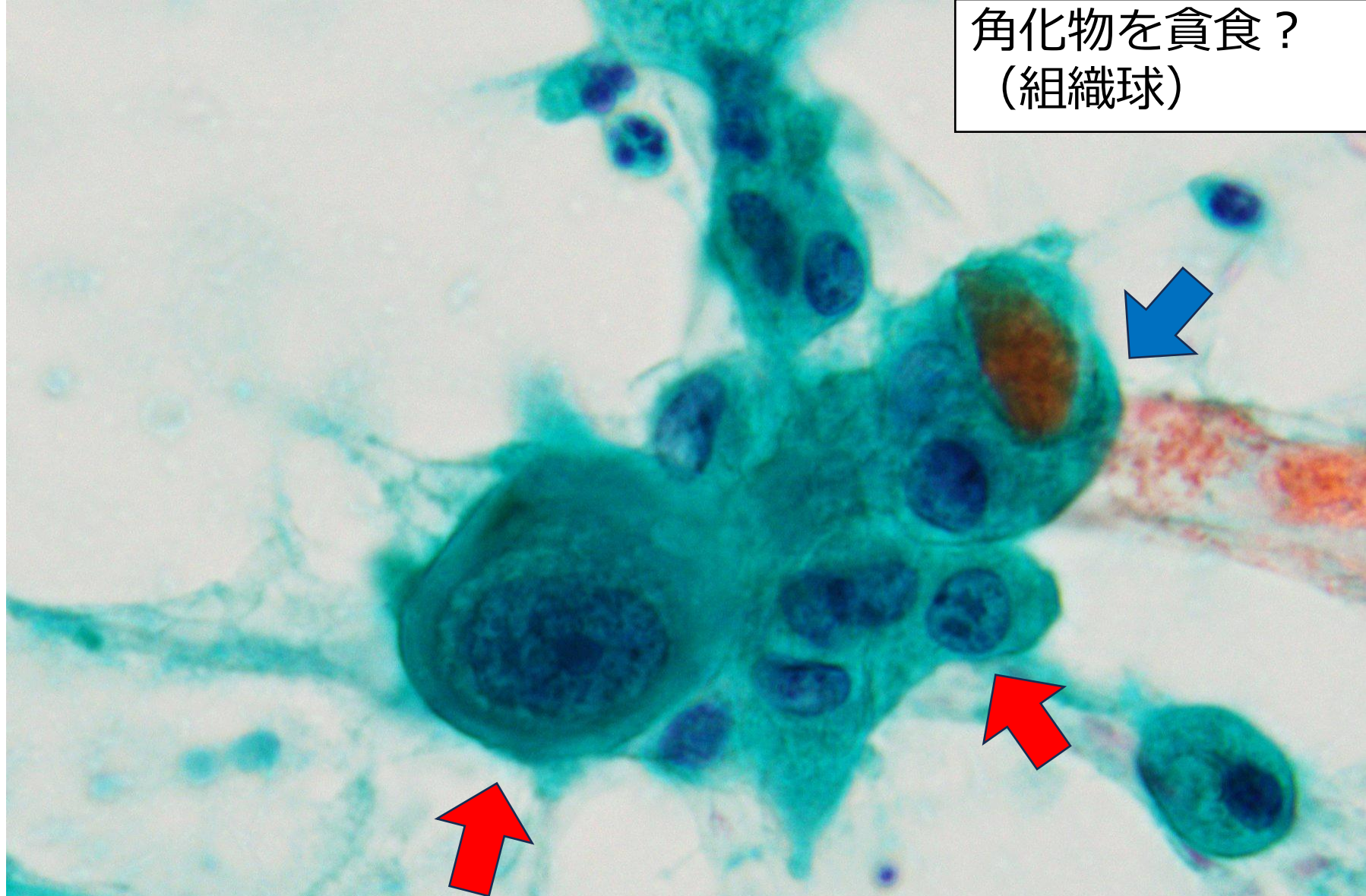
オタマジャクシ様の角化扁平上皮細胞



輝度の高いオレンジ G 好染性の  
角化扁平上皮細胞も多数出現

Papanicolaou染色  
対物 x 100

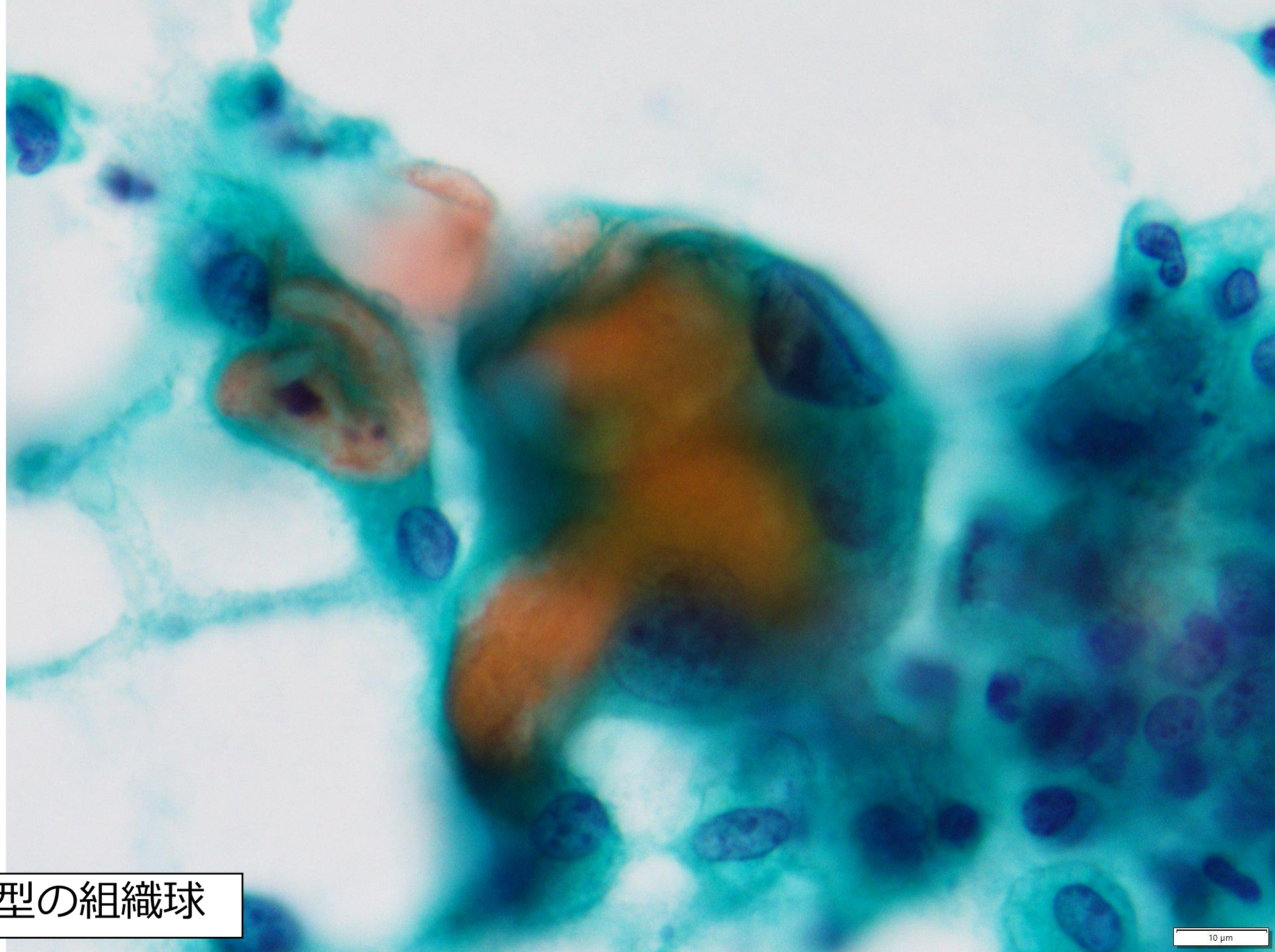
角化物を貪食？  
(組織球)



層状構造を伴う扁平上皮様の異型細胞

集簇するように、偏在核を持つ異型的な細胞

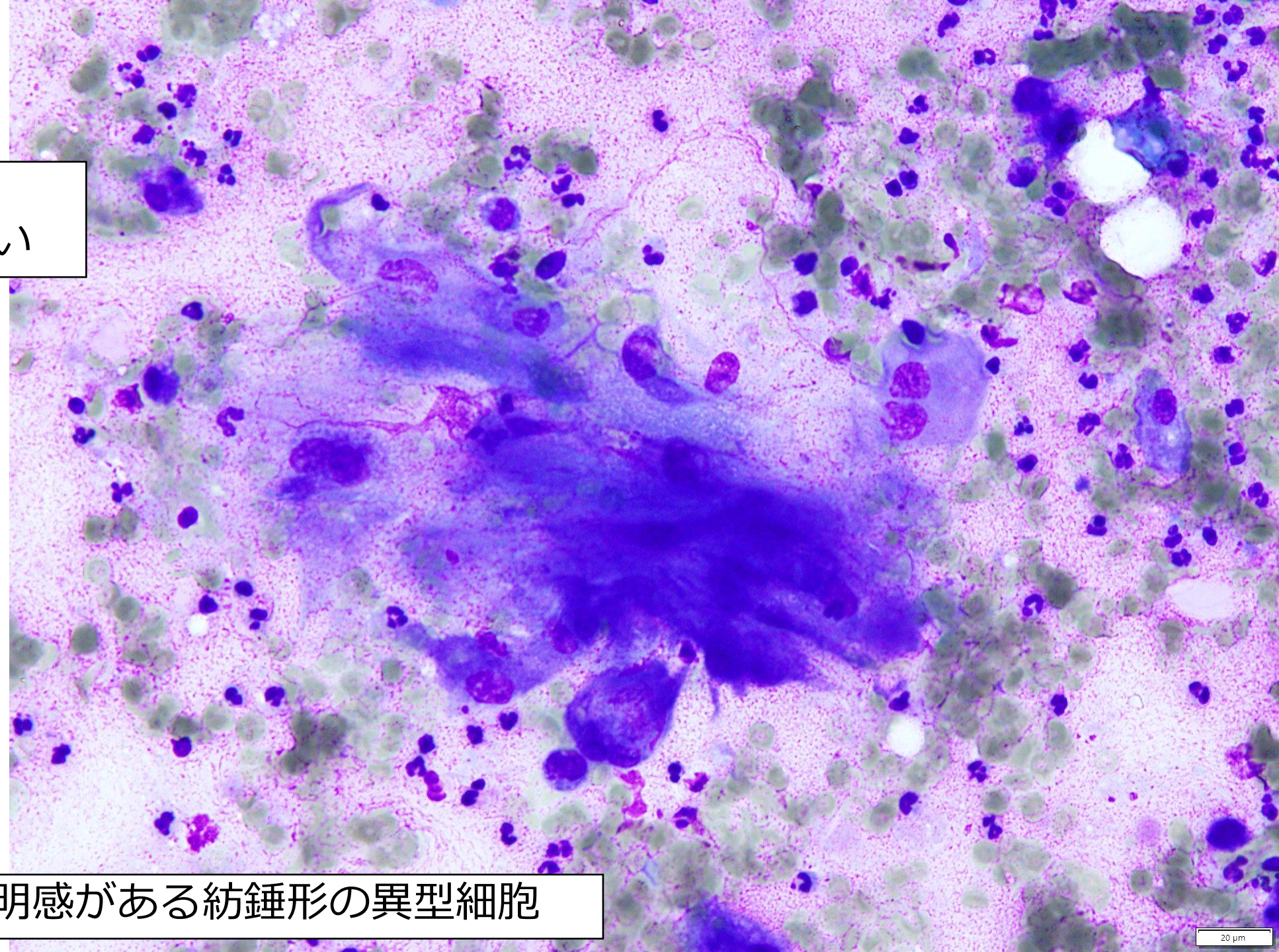
Papanicolaou染色  
対物 x 100



角化物を貪食する大型の組織球

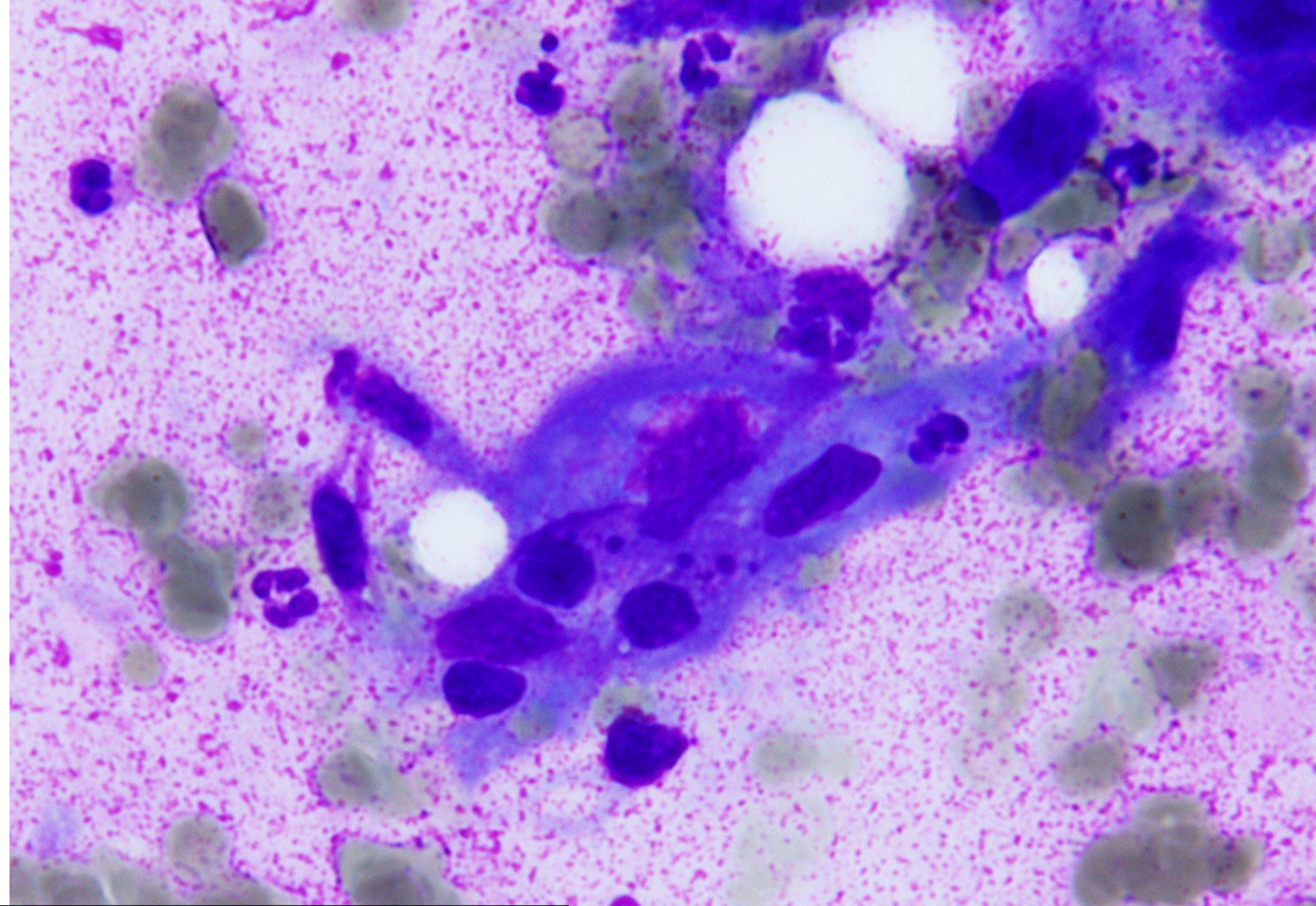
May Giemsa 染色  
対物 x 40

Giemsa染色にて  
間質粘液はみられない



細胞質は均一感、透明感がある紡錘形の異型細胞

May Giemsa 染色  
対物 x 100



核中心性、多稜形の異型細胞（扁平上皮細胞）

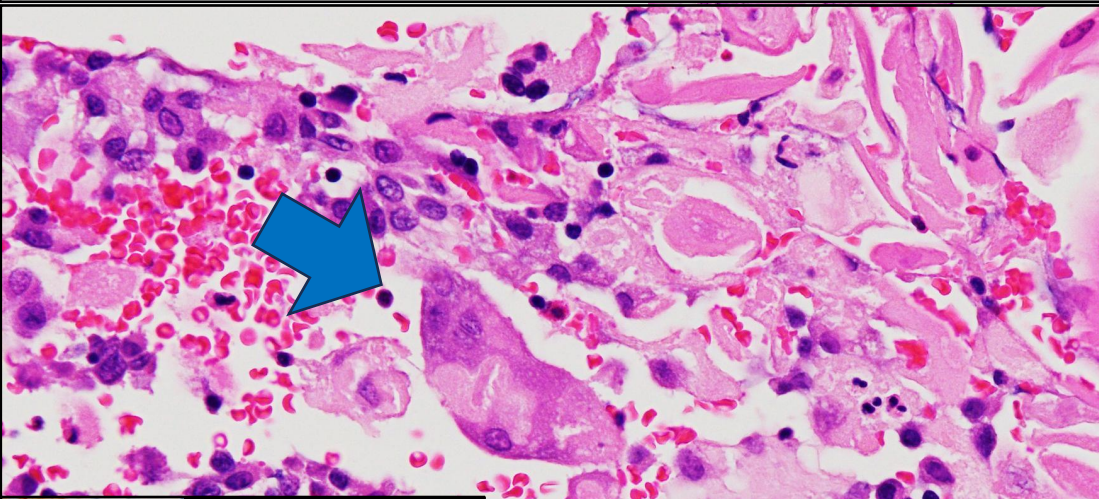
細胞判定

**Class III**

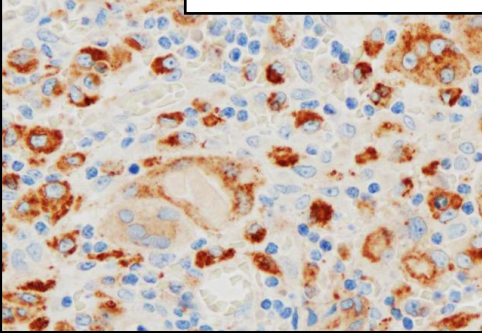
**Atypical cells**

空隙内腔や辺縁には、好中球が混在した角化物や組織球が覆う

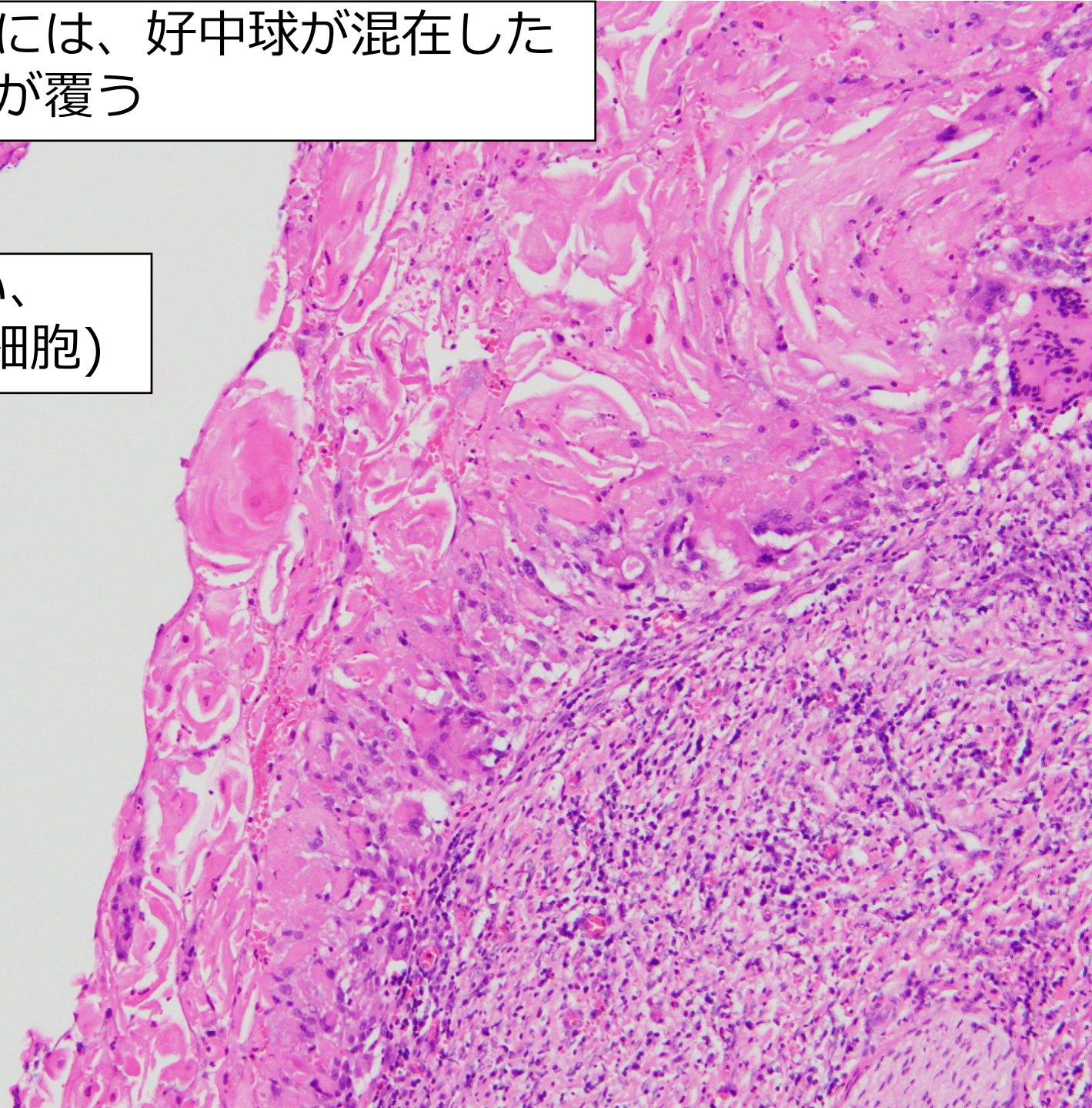
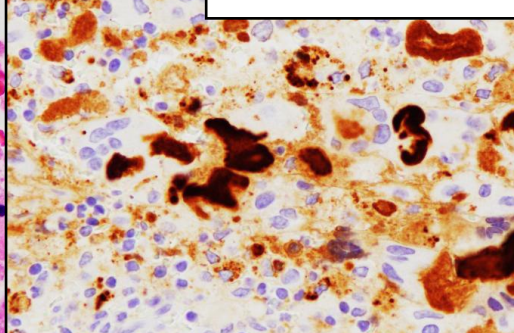
組織球には、核腫大や核形不整を伴い、集簇して角化物を貪食する(異物型巨細胞)



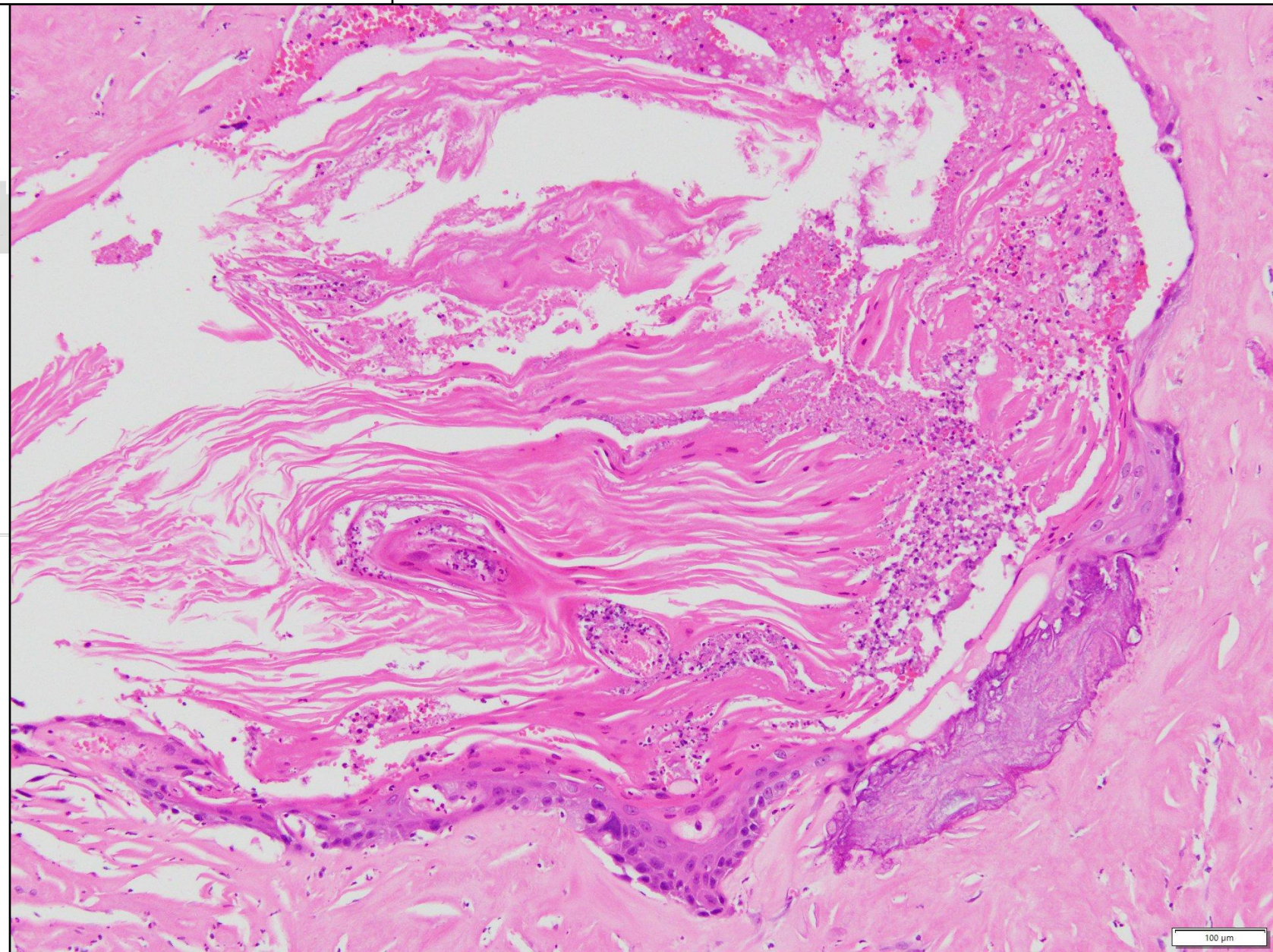
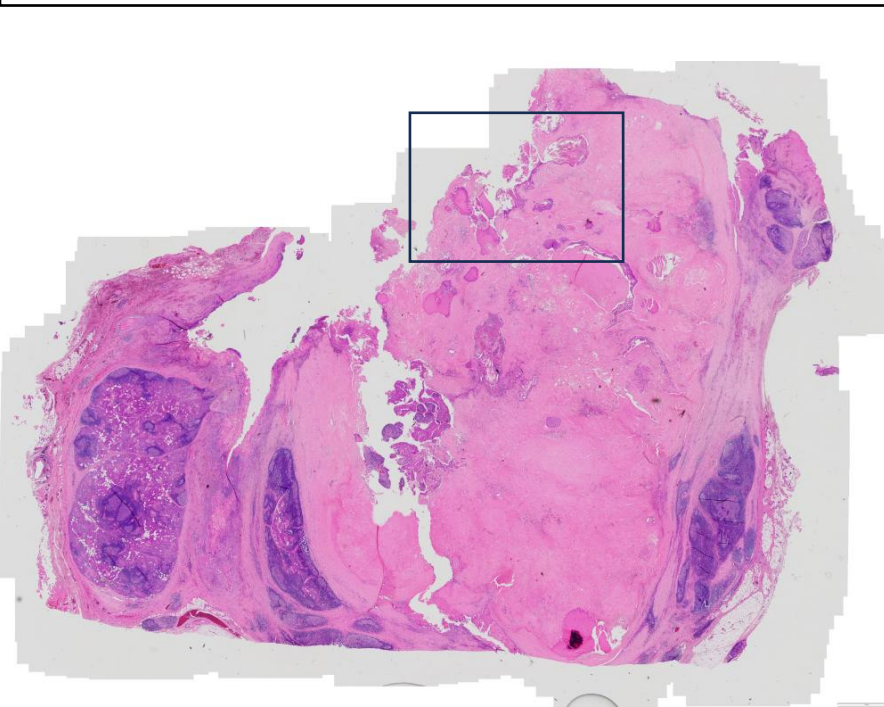
CD68(kp1)



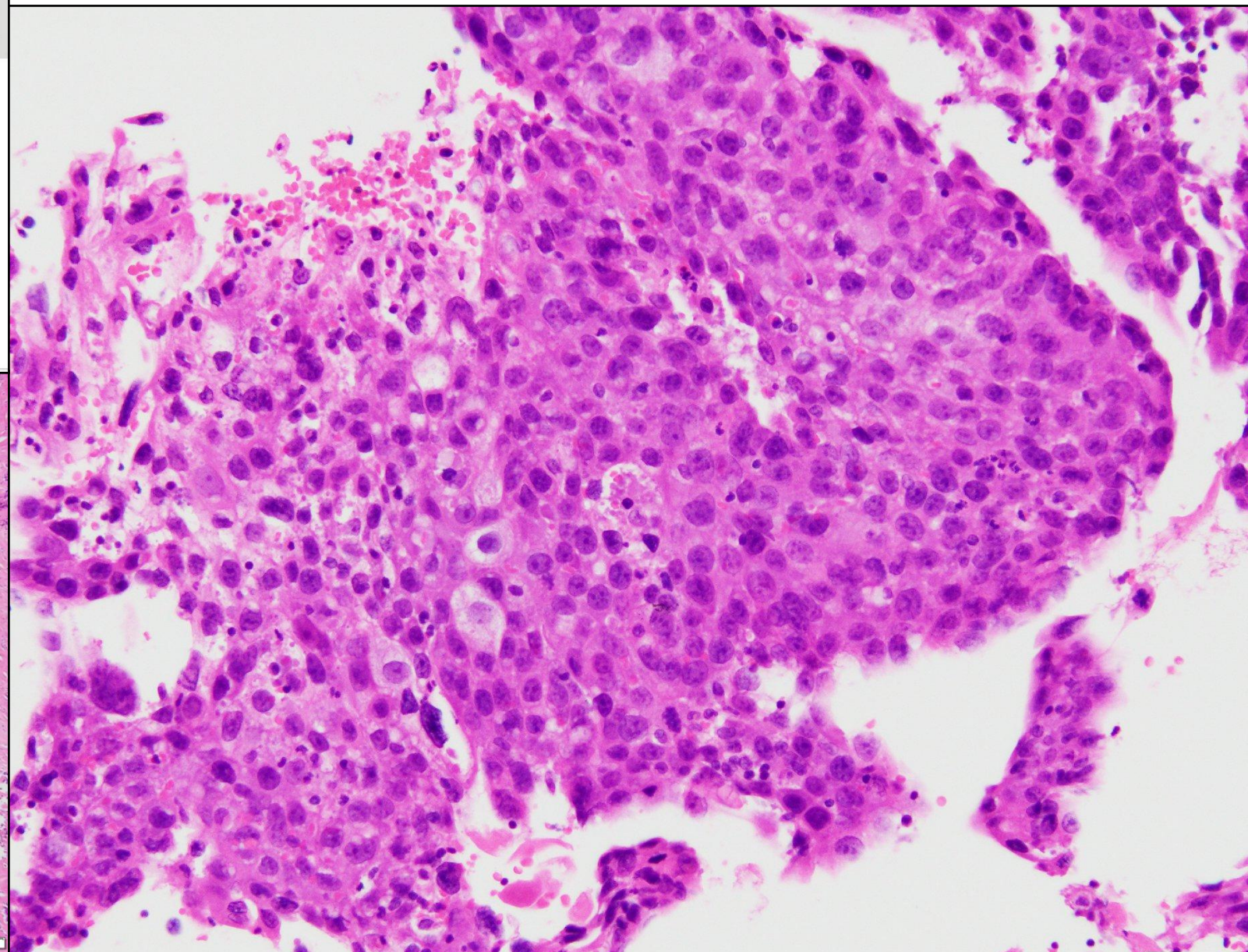
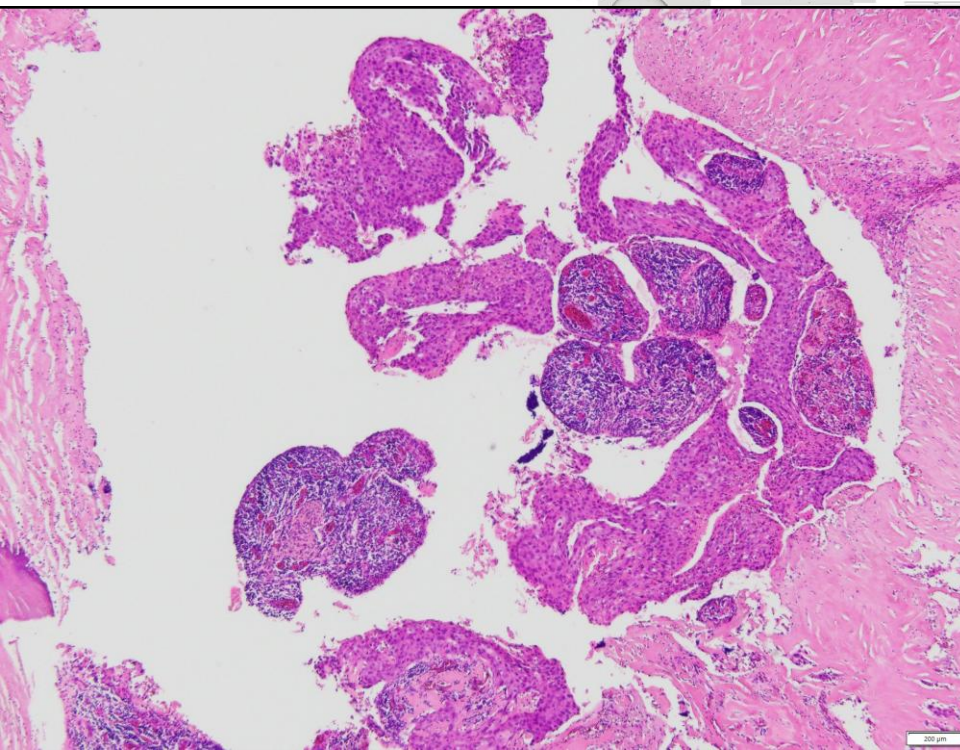
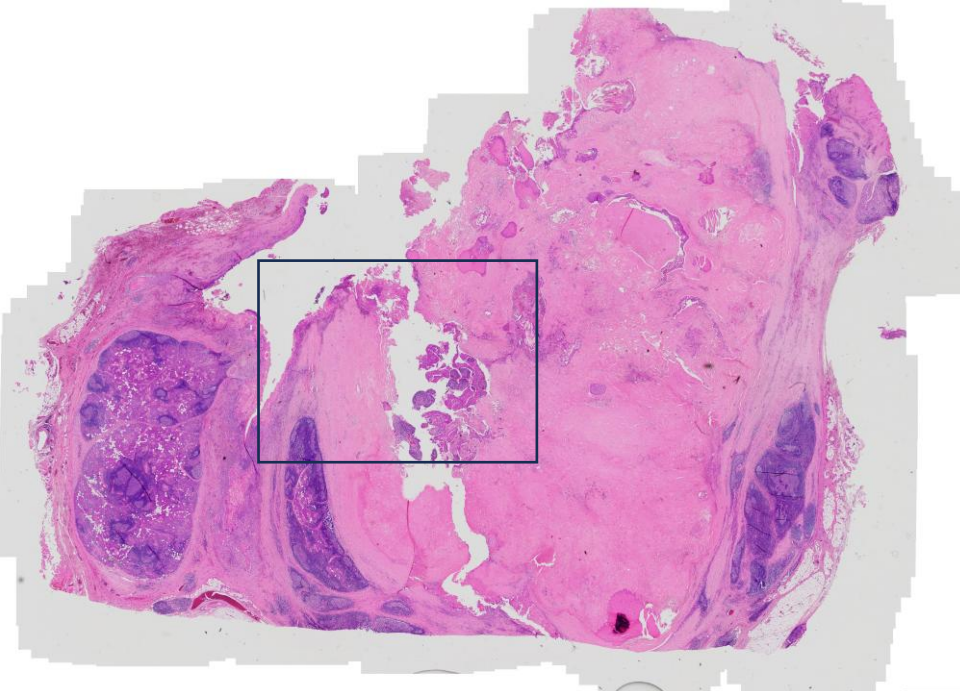
CKAE1/AE3

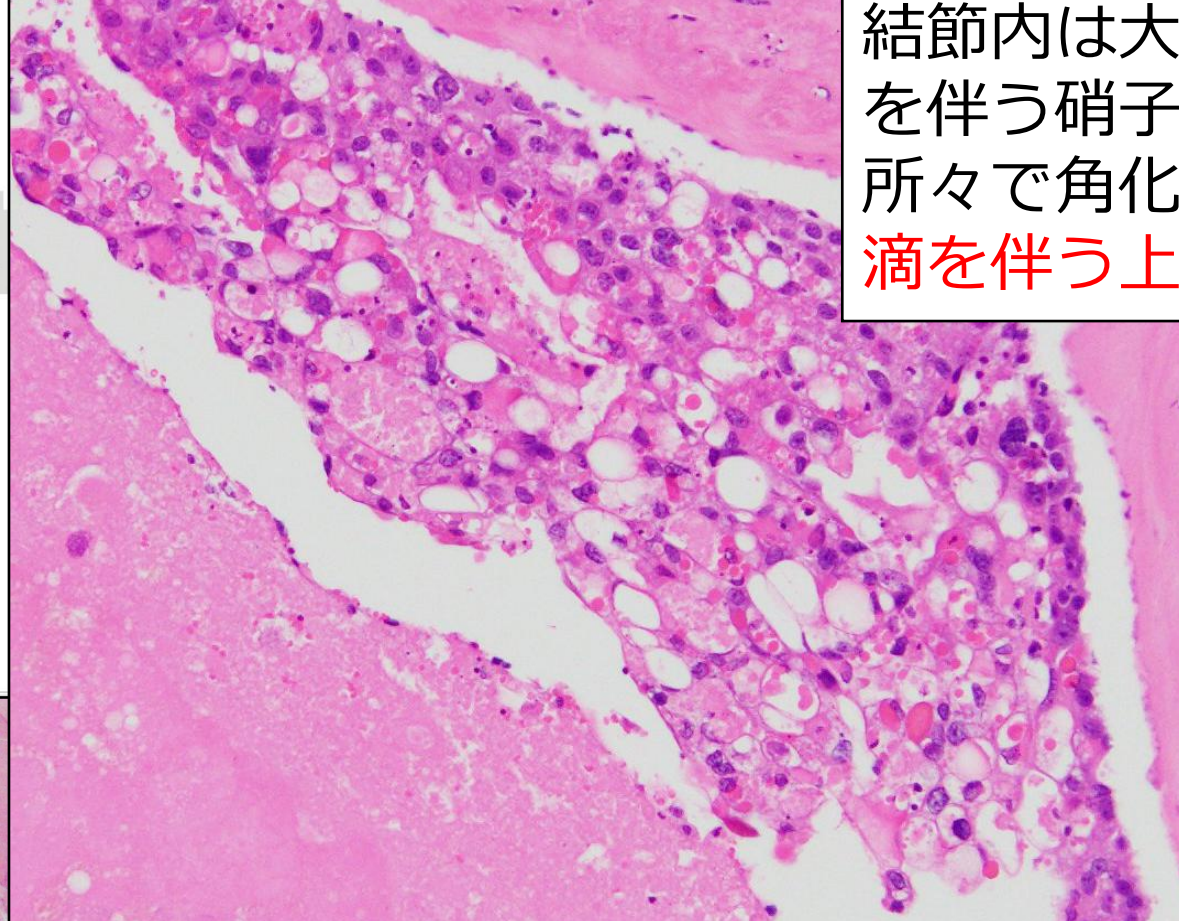
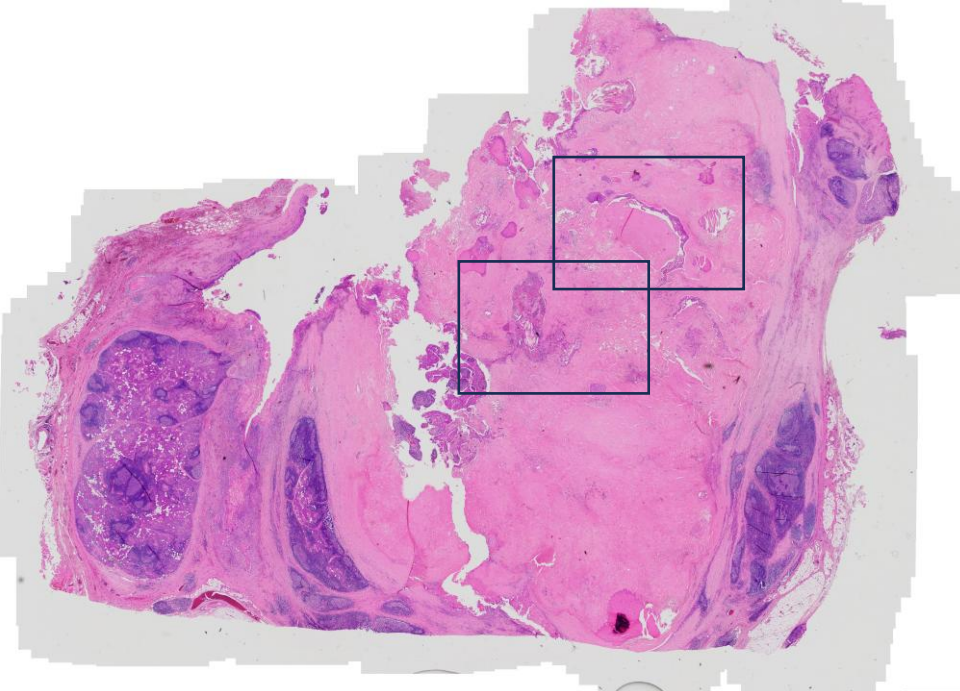


空隙内側の一部に、角化を伴う異型のやや弱い  
重層扁平上皮が覆われていた

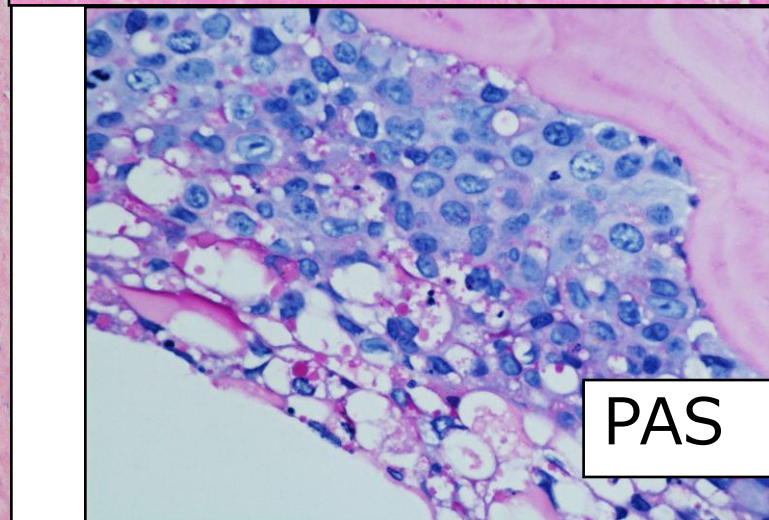
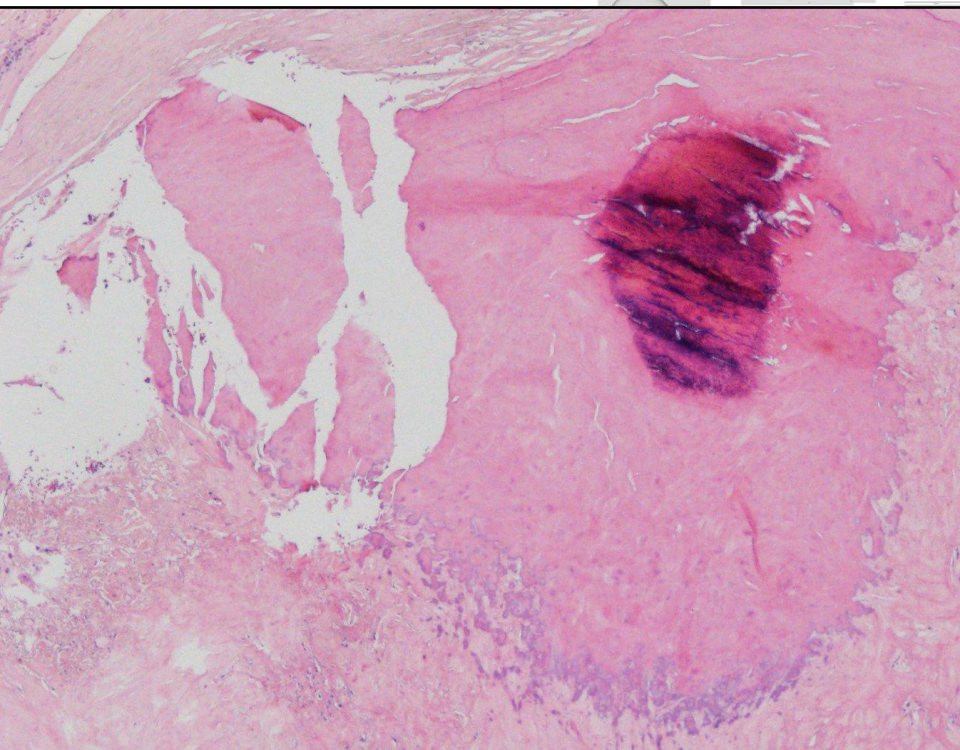


空際に接する一部に異型の強い扁平上皮集塊

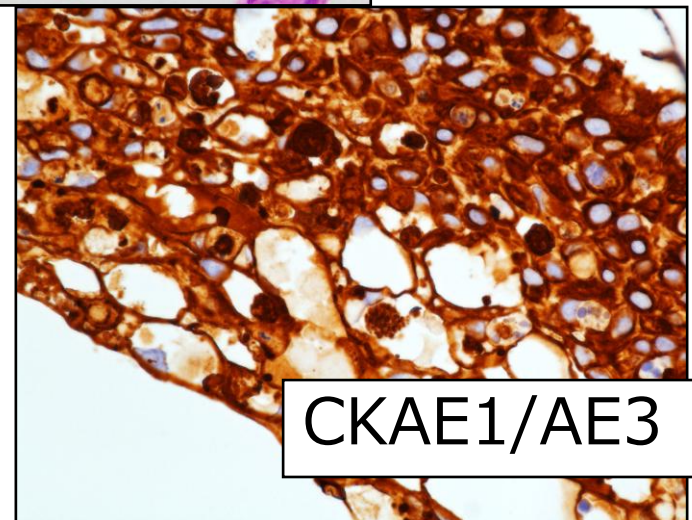




結節内は大部分が石灰化を伴う硝子化領域を認め、所々で角化に乏しく硝子滴を伴う上皮塊を認めた。



PAS



CKAE1/AE3

# 組織診断

Chronic sialadenitis and  
carcinoma, **squamous cell carcinoma**,  
pT1, pN0, cM0, pStage I

唾液腺（顎下腺）の扁平上皮癌は**非常に稀**

以下の鑑別が必要

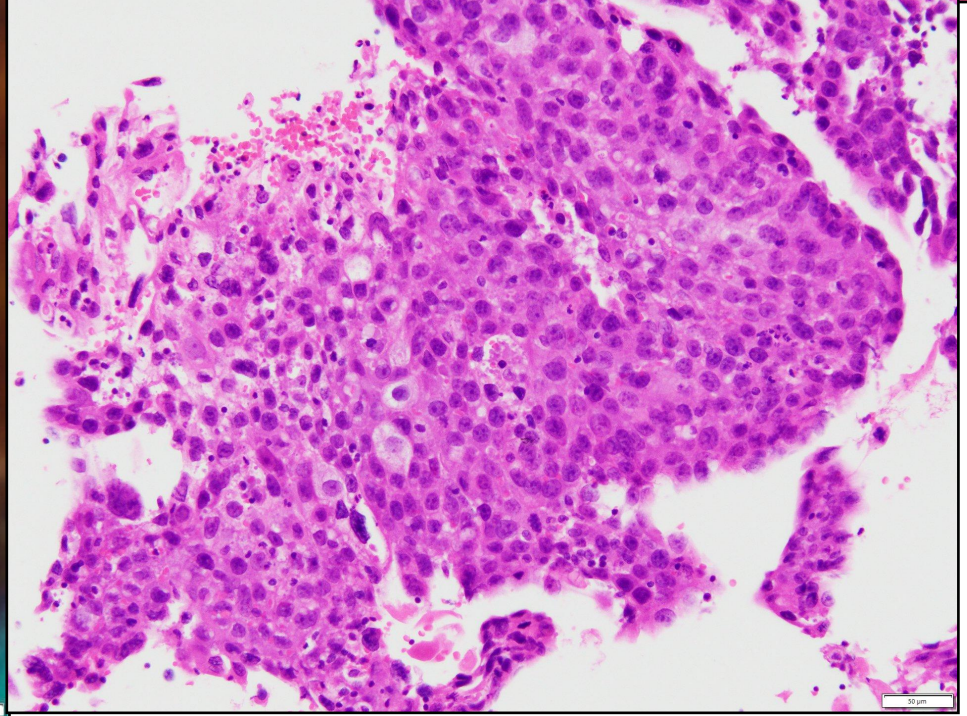
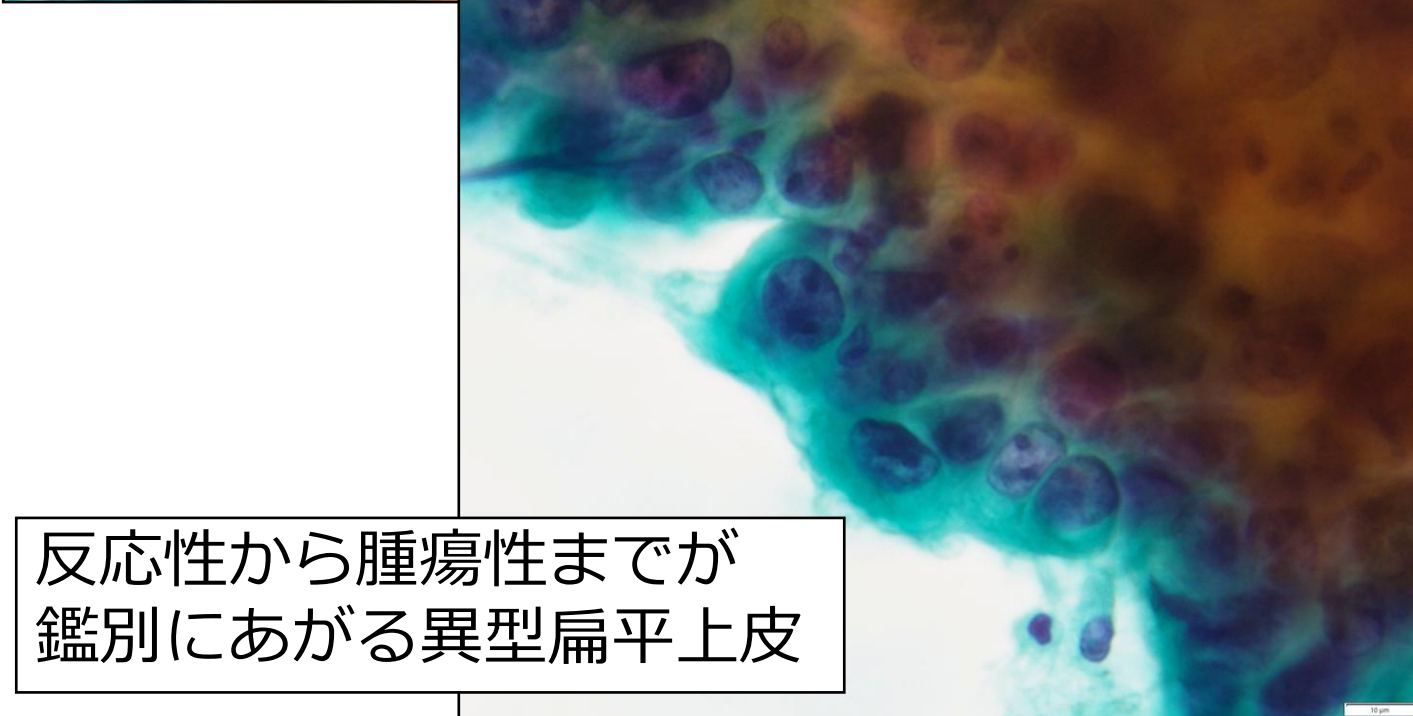
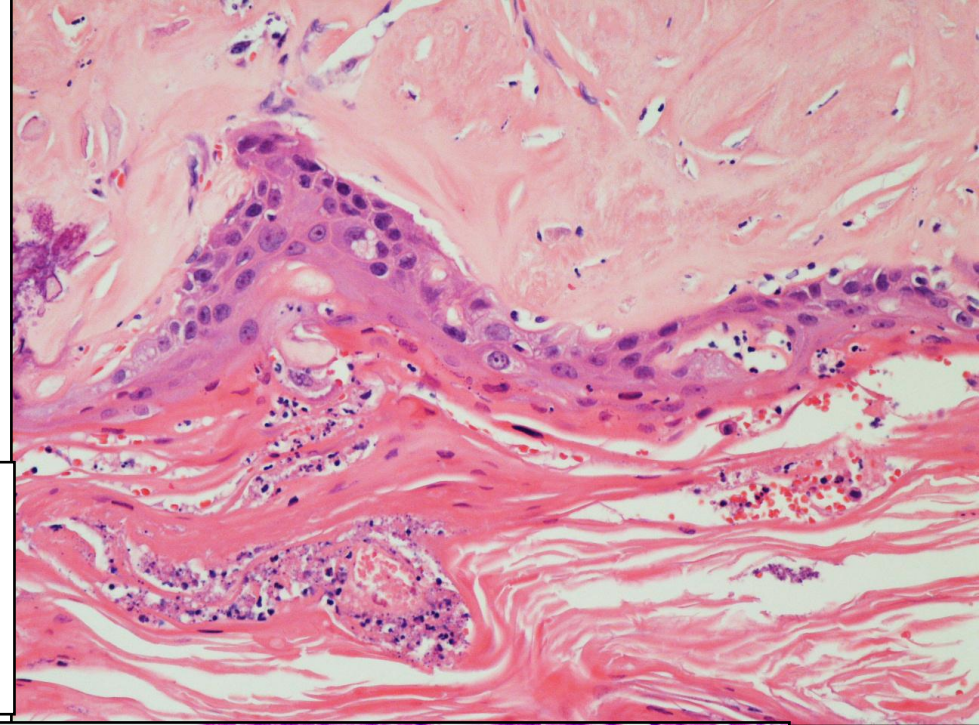
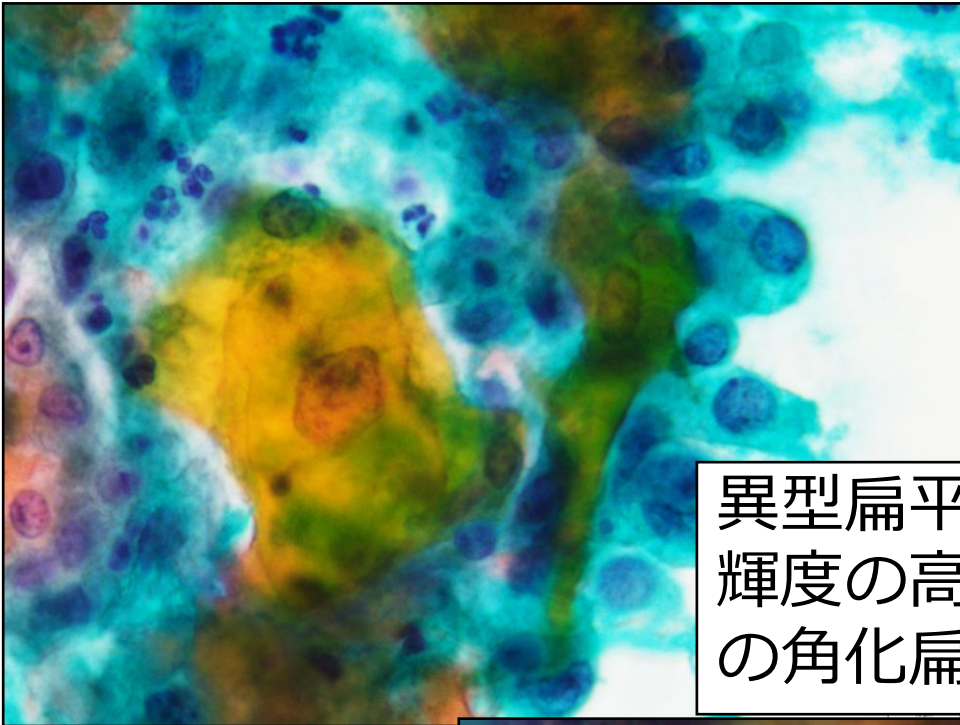
- **多形腺腫由来癌**
- **腺様嚢胞癌や上皮筋上皮癌の脱分化**
- **転移性腫瘍**

**他の組織型を  
深切、裏包埋、削いだ残りの  
検体を詳細に検索**

**臨床的に検索**

# 細胞像 と 組織像

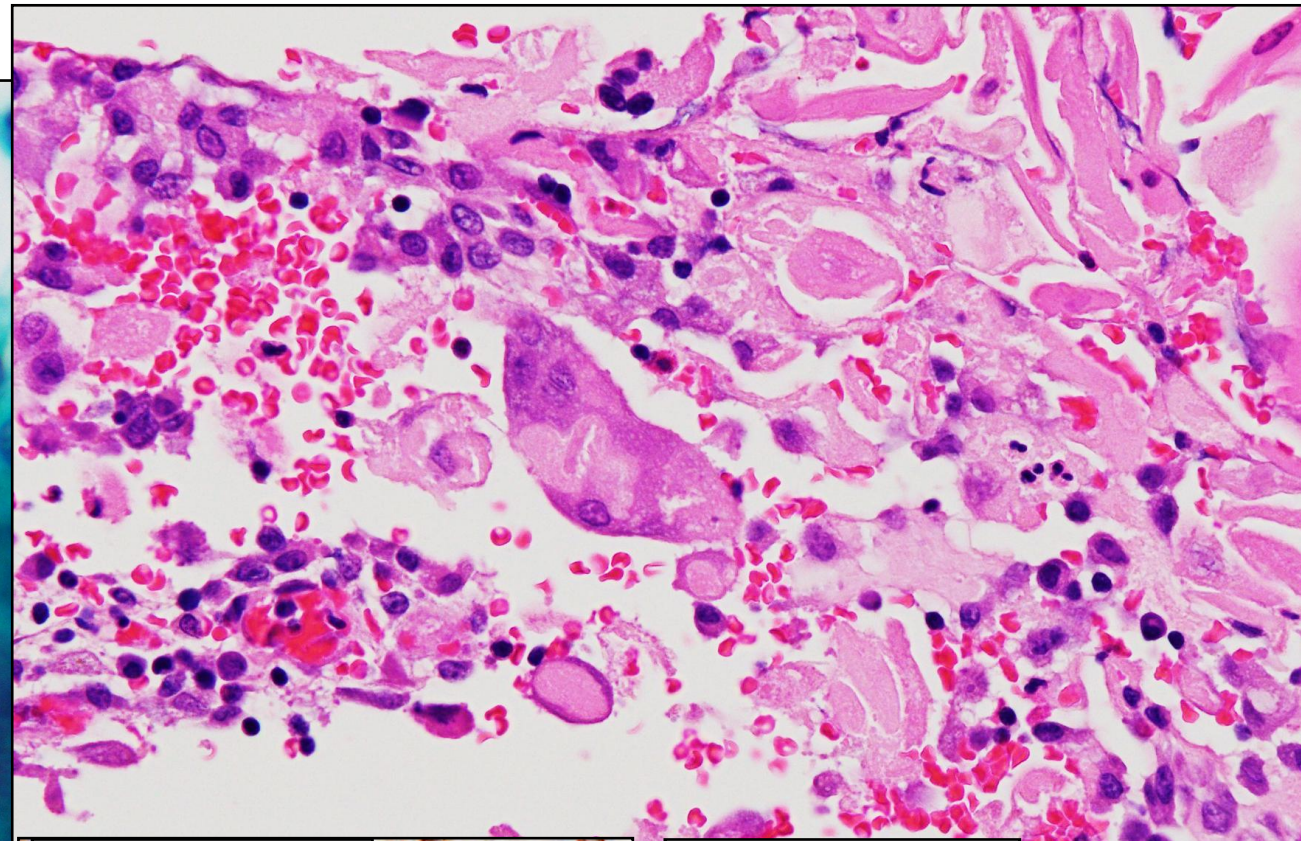
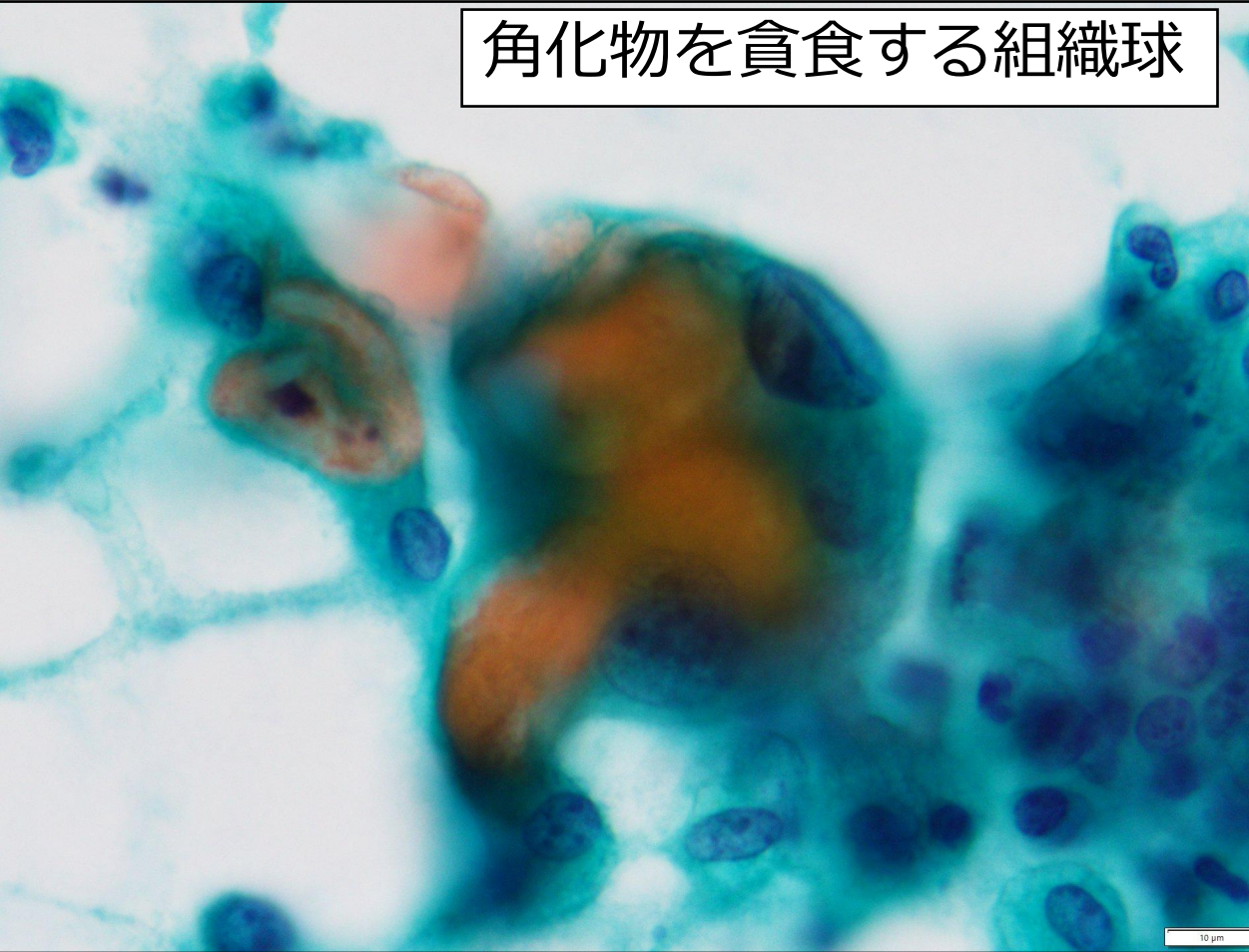
異型扁平上皮細胞  
輝度の高いオレンジ G 好染性の  
角化扁平上皮細胞



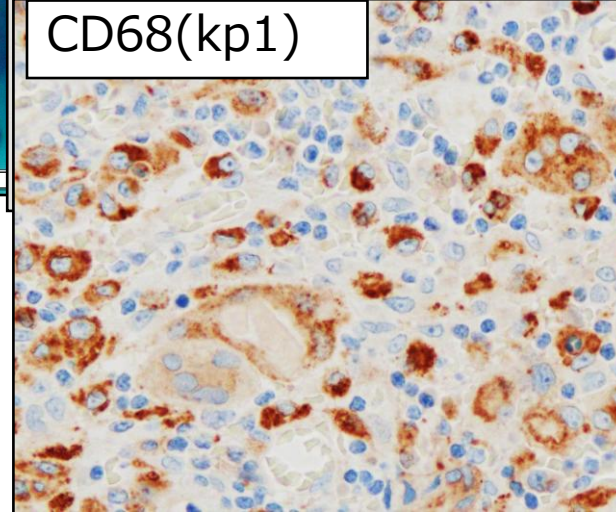
反応性から腫瘍性までが  
鑑別にあがる異型扁平上皮

# 細胞像と組織像

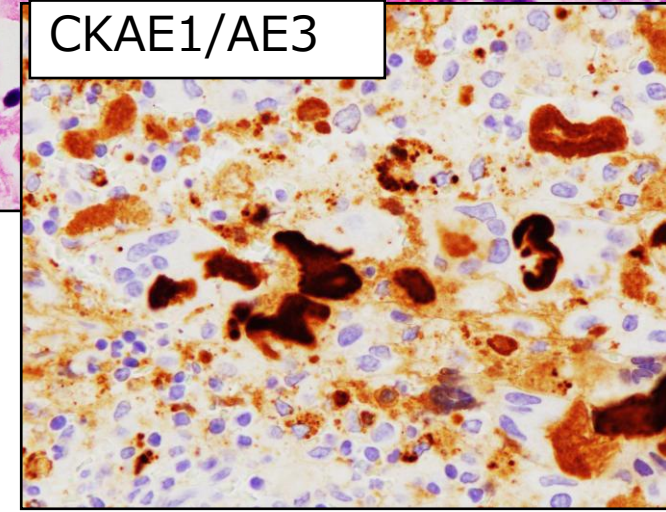
角化物を貪食する組織球



CD68(kp1)



CKAE1/AE3

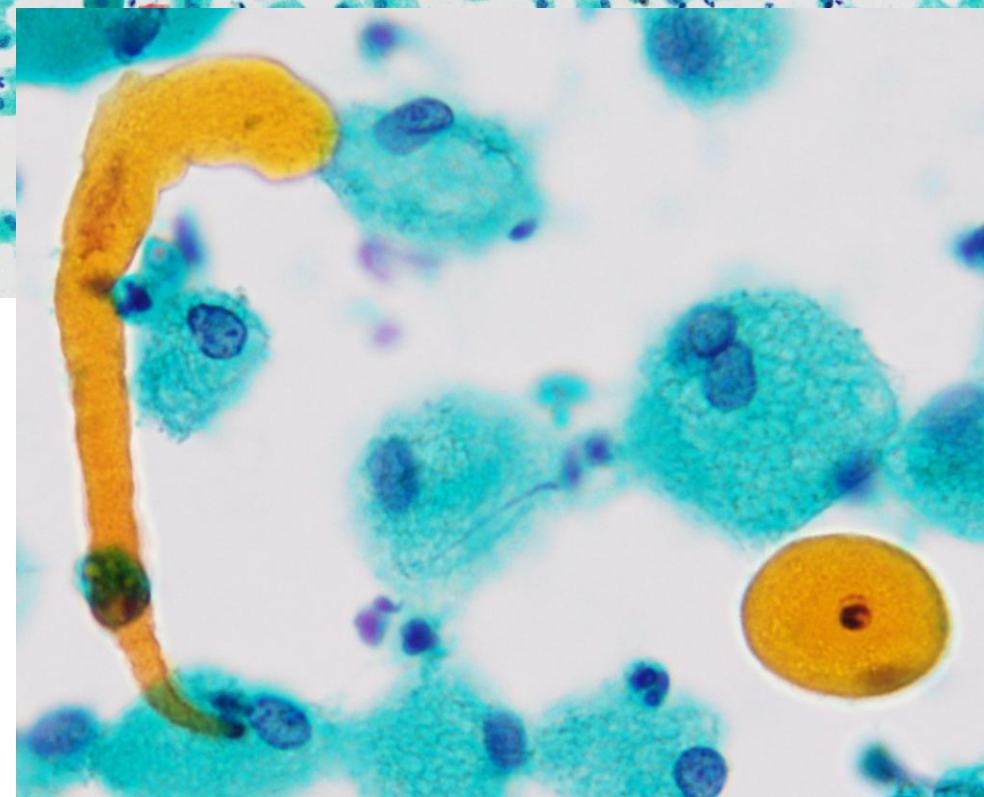
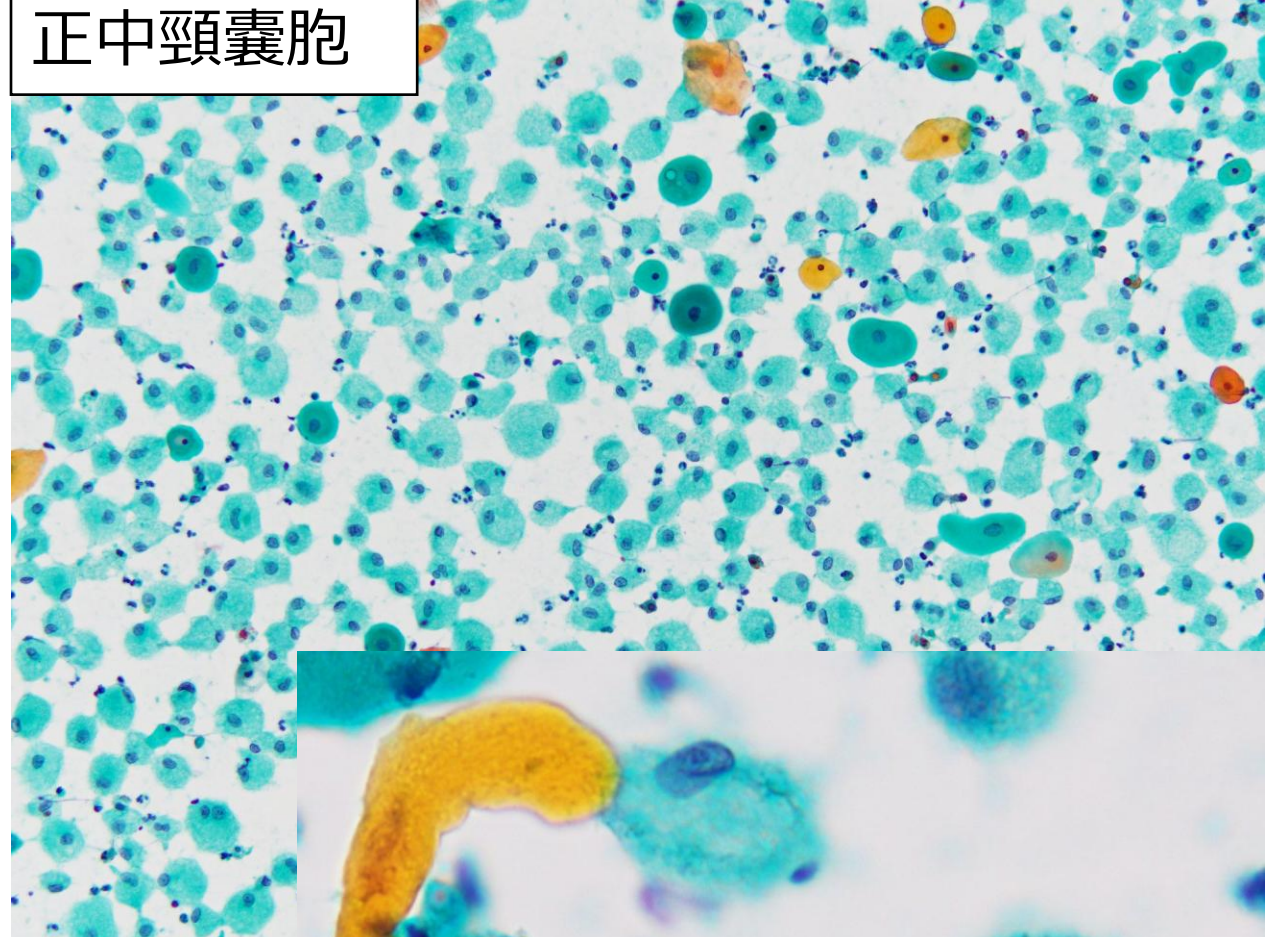


# 鑑別診断

# 炎症性変化

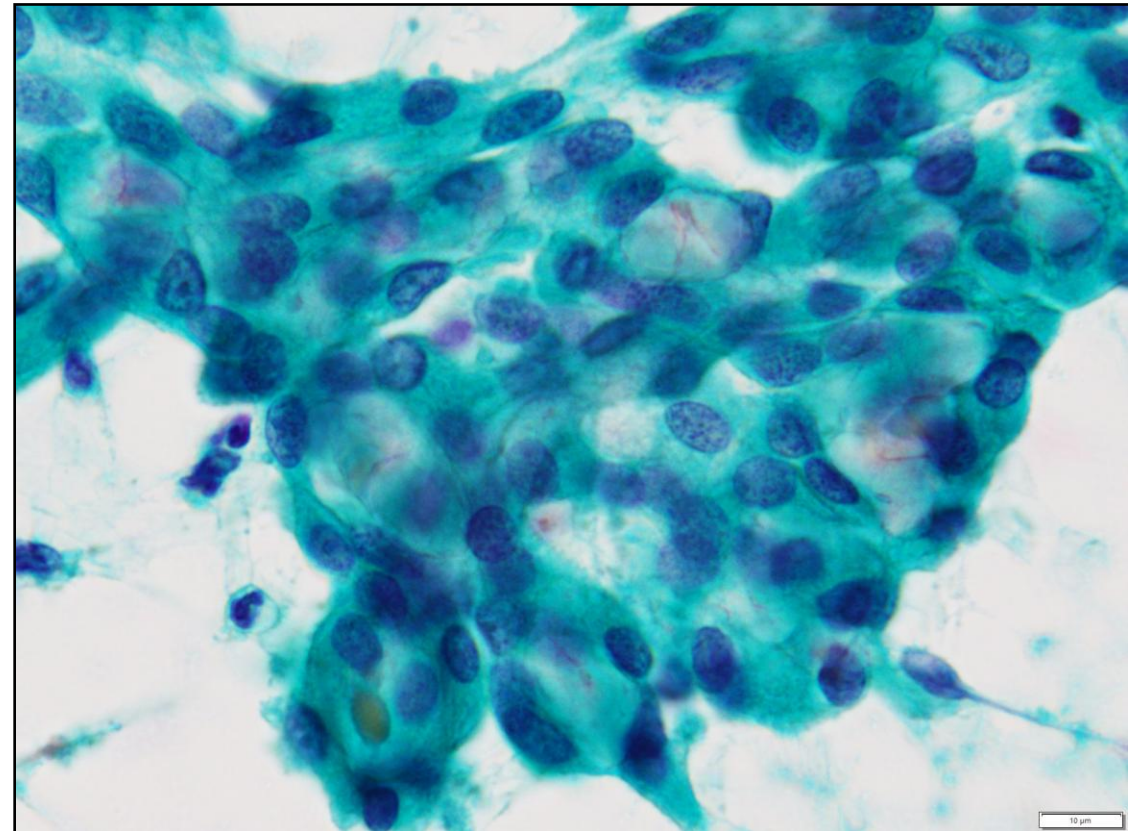
- N/C比の低い扁平上皮細胞
- 輝度が高く、紡錘形細胞が混在しても核異型はみられない

正中頸嚢胞



# 粘表皮癌

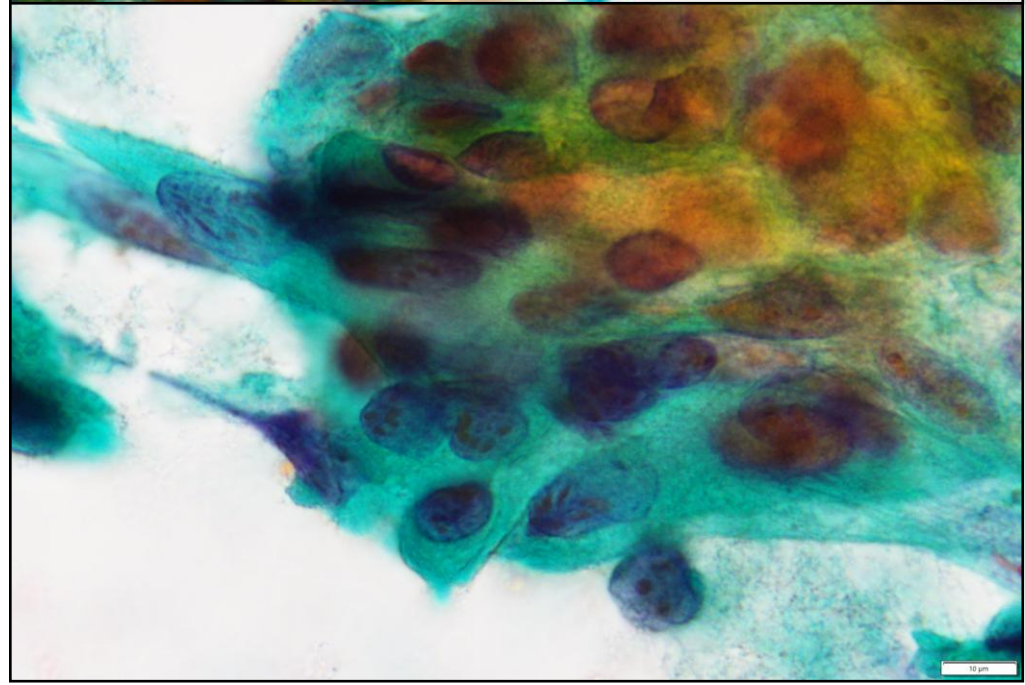
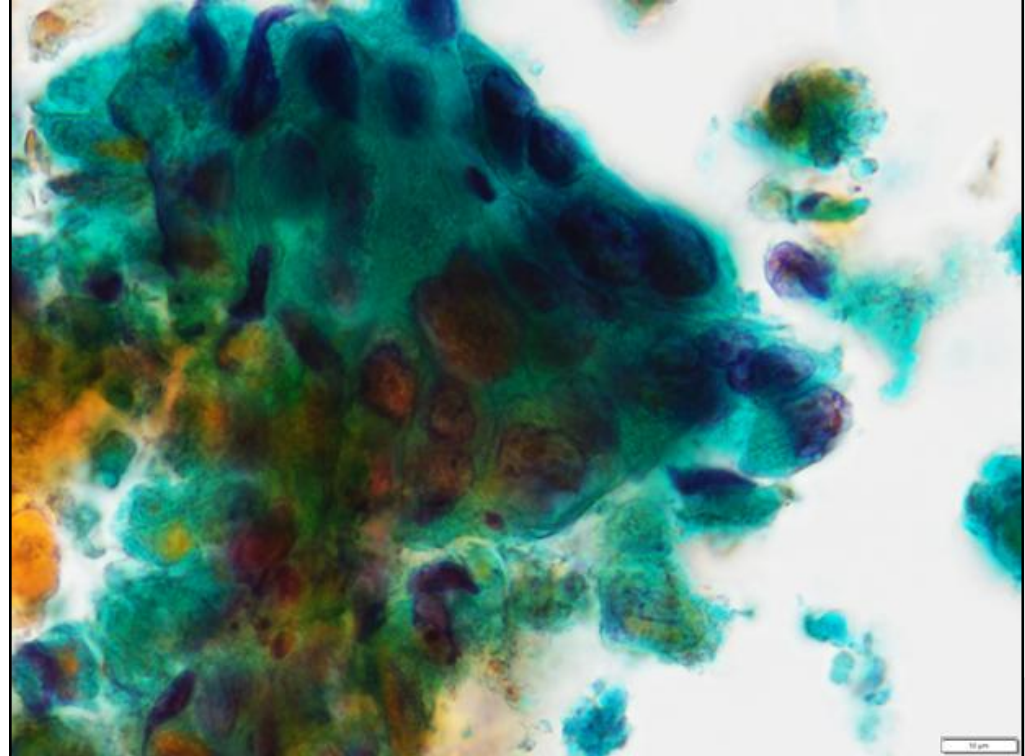
- 粘液・扁平上皮・中間細胞からなり、低・中・高悪性に分類される。
- 角化は稀で細胞間橋は認識しにくい  
(オレンジG 好性細胞はみられない)



参考文献：

# 唾液腺導管癌

- 背景は**壊死性**、異型細胞は好酸性で豊富な細胞質を有する
- **核異型は高度**で、顆粒状クロマチンや核小体がみられる



参考文献：

唾液腺腫瘍組織診・細胞診 コンサルテーション症例に学ぶ実践的診断法

# 扁平上皮癌

- 背景は壊死～炎症性で、オレンジG好染性の角化が明瞭
- 唾液腺原発扁平上皮癌は極めて稀
- 他の唾液腺腫瘍に伴う扁平上皮成分を鑑別にあげる必要がある
- 他臓器、他領域からの転移の除外が必須